

埼玉県敵討課 [さいはまけん かたきうちか]

平野 正喜 [ひらの まさき]

ver.3.1 : 2018/09/06

登場人物 = 登場順

小林 麻雛 [こばやし あさひな] 32歳。女性。新設された埼玉県敵討課の職員。バス好きの乗り鉄。父は厚労省の管理官だった。スーツ姿。

曾我 悟朗 [そが ごろう] 24歳。男性。父の敵討ちをしたくて敵討課に訪れた。ヒザのけがのために歌舞伎俳優養成学校を中退。Tシャツとジーンズ姿。

工藤 助常 [くどう すけつね] 55歳。男性。新設された埼玉県敵討課の課長。麻雛の父の後輩で、司馬県スズメバチ対策課から栄転してきた。スーツ姿で、ポケットにボールペンと小さなスプレー缶。

中央に机、左右に椅子。机の上にボールペンが1本と、申込書の入った書類入れ。

上手にさりげなく歌舞伎のツケ一式（ツケ板、拍子木2本、座布団）。そばに柀も置いてある（ツケの拍子木で代用しても良い）。

上手の椅子に小林麻雛[こばやしあさひな]がペンを片手に座っている。

麻雛 （ぶっきらぼうに）次の方どうぞ

下手からカバンを下げた曾我悟朗[そがごろう]が入ってくる。

悟朗 （ていねいに頭を下げて）お願いいたします。

麻雛 （手慣れた様子で）はい、どうぞ、お座りください。

悟朗は椅子に座る。麻雛は書類入れから申込書を取り出して、

麻雛 決まりですので、最初に確認しますが、敵討ちの申込みにいらっしゃったのですね？

悟朗 はい。

麻雛 敵討ちは精神的、肉体的、経済的な負担を伴うものであり、あなたの望む結果が得られない可能性があることはご理解されていますか？

悟朗 はい。いろいろ調べましたので、僕は詳しい方だと思います。

麻雛 では、この申込書をお書きください。ボールペンをどうぞ。

悟朗は麻雛から申込書を受け取って、机上のボールペンを取り書き始める。  
麻雛は覗き込んで、

麻雛 そが、ごろうさんですね。必須の※印がついている欄、全て埋めてくださいね。

悟朗 はい。

突然、悟朗の手が止まり、わなわたと震えだす。

麻雛 どうしたんですか？

悟朗 え？ そ、そんな。(狼狽して) えーーーー？

麻雛 (悟朗の過度の動揺に少したじろぎながら) ホントにどうしたんですか？

悟朗 す、すみません。敵[かたき]の名前が…、思い出せません！

麻雛 (さすがに冷静を保ちきれず) え？

悟朗 わああ、こんな大事な時に(机に泣き伏す)

麻雛 ど、どうして？

悟朗 (机に泣き伏したままで) す、す、すみません。思い出せないんです、全然…

麻雛 あおう、敵[かたき]ですよ。貴方自身の。敵討ちの相手ですよ？忘れるなんてそんな！

悟朗 (少しだけ頭を上げて) ダ、ダメなんです。ホントに、思い出せないんです。すみませんすみません。

麻雛 (少しイラっとして) 謝らなくて結構です。

悟朗 先月から、なぜか、大事なことを忘れちゃうんです。しかも、その時一番大事なことを。

麻雛 え？ それってどういうことですか？

悟朗 (少し落ち着いて姿勢を正して) は、はい。すみません、医者にも相談したんですが、若年性アルツハイマー症の一種かもしれないとしか、わからなくて。若年性アルツハイマー症ってご存知ですか？ 物忘れの病気で、古い記憶から忘れてら良いのに、新しい記憶から先に忘れてしまうんだそうです。僕の場合、これが、重要な記憶から先に忘れてしまうという症状で。どうでもいいことから忘れてくれたらいいのに。あ、すみません。

麻雛 お気持ちはお察ししますが、敵[かたき]の名前を思い出せないのでは、そもそも敵討ちになりません。こちらは、敵討ち許可の申込みを受け付けることしかできませんので。困りましたね。今日のところは…

悟朗 （さえぎって）す、すいません、すぐに思い出せるとお思いますので、ちょっとだけ待ってください。敵討ち許可法ができるのをずっと、ずっと待ってたんです。父の、父の敵が取れるって。で、今日から受付開始と聞いて、茨城県との境目に面したウチからバスと東武線と東武線と東武線と JR を乗り継いできたんです。なんで、埼玉県庁ってこんなに遠いんですか！

麻雛は静かに申込書を覗き込んで、

麻雛 久喜市の端ですか。ごかりん号バスに、東武日光線に東武スカイツリーラインに東武野田線に、あ、今はアーバンパークラインか、そして東北線ですね。宇都宮線か高崎線か湘南新宿ラインか上野東京ライン。

悟朗 （啞然として）なんでそんなに詳しいんですか？

麻雛 バス好きの乗り鉄です。ま、それは置いといて、事情はお察ししますが、相手の名前が思い出せないのでしたら、敵討ちそのものがムリでしょう。お考え直されることを…

そこに工藤助常[くどうすけつね]が入ってくる。

工藤 まあまあ、小林くん、ちょっと待ってあげたまえ。

麻雛 課長、そんなことをおっしゃられても…

工藤 せっかく、バスと東武線と東武線と東武線と JR を乗り継いでいらっしやっただ。しかも、今日は敵討課の業務初日。埼玉県に敵討課が出来たお蔭で、司馬県[しばけん]スズメバチ対策課から栄転してきた私の初日でもある。しかも、今日のお客様はの方が最後だろう。（歌舞伎風に）ムゲにしちゃあ、いけないよ。

麻雛 （歌舞伎風に）成田屋！

悟朗 （歌舞伎風に）待ってました！

工藤 お？

麻雛 あ、すいません、思わず声を（照れる）。

悟朗 あ、すいません、僕もです（照れる）。

工藤 なになに？ お客様も小林くんも歌舞伎マニア？ 嬉しいねえ。私も歌舞伎が大好きでねえ。歌舞伎好きに悪い人はいないよ。

麻雛 （真顔に戻って）そうですか？

工藤 思い出すまで付き合っただけじゃあないか。そもそも、なんでそんなに忘れっぽいんですか？ いつから？

悟朗 実は僕は国立劇場の歌舞伎の研修生でした。ある日、トンボの練習で膝を壊してしまって、長時間の正座ができなくなっちゃったんです。あ、トンボって宙返りのことです。

麻雛 （冷静に）大丈夫です、歌舞伎好きには常識です。

悟朗 あ、そうですよね。で、これでは歌舞伎俳優には成れないので、諦めようとしたら、先生のひいき筋だという方から「良い薬があるよ、まだ、治験中だから表には出てないけど、特別に回してあげよう」と。飲んでみたら確かに、痛みは少しやわらいだんですが、やはり、ヒザはダメで。で、諦めて、歌舞伎俳優養成所を中退したんですけど、精神的なショックのせいでしょうか、大事なところで大事なことを思い出せなくなってしまったんです。

工藤 おやまあ、そういうことでしたか。日本の伝統芸能の将来を支える歌舞伎役者の卵だったとは、惜しい、本当に惜しい話です。

悟朗 すみません。僕は歌舞伎が大好きで、父も大好きだったので、いつか歌舞伎座に立つのが夢だったのですが。

麻雛 で、その敵[かたき]とは、お父様の、ですか。

悟朗 はい、そうです。父はかわ…、河…、(啞然とする)

工藤の表情が一瞬曇る。

麻雛 (驚いて) え、またですか？

悟朗 (涙声で) こ、今度は父の名前が！父の名前が思い出せません！そ、そんな一、  
くうう (泣き伏せる)

工藤、わずかにニヤつとする。

麻雛 お具合が悪化してるんじゃないですか。すぐに病院に行かれた方が。

悟朗 (少しだけ頭を上げて) そ、そうかもしれません。でも、父が亡くなったあの日から、絶対、敵[かたき]を取ってやると決めて、機会が来るのを、ずっと、ずっと待ってたんです。あの男に狩場[かりば]産業の手形を押し付けられたばっかりに、全てを無くした父の。そう、あの男の、ああ、思い出せないのが悔しい！

悟朗、机を叩く。

工藤の表情が一瞬曇る。

麻雛 でも、このままでは…

工藤 (割り込んで) ほお、どこの手形でしたか

悟朗 はい、か、か…、え？ さ、さっきまで覚えてたのに！手形！あの会社の手形です！あんな会社の！ああ、もう僕はダメだ一。くうう (泣き伏せる)

工藤、わずかにニヤつとする。

麻雛 ホントにご病気のようにですし、一刻も早く病院へ…

悟朗 しかし、敵討ちが！あのにくい男に、せめて一太刀を！

麻雛 あのう、まだ、敵討ち申込みの受付が始まっただけです、すぐには一太刀なん

て無理ですよ。

悟朗 え、そ、そんなあ。

麻雛 （冷酷に）刑法や関連条例の改正が全く進んでいませんので、例え、申込みが埼玉県に受理されたとしても、改正前に相手に傷を負わせたら傷害罪が成立します。その前に、相手をつけまわしたりしたら、ストーカー行為等の規制等に関する法律に触れてしまいます。茨城県[いばらみけん]には敵[かたき]の心臓すれすれから1ポンドの肉を切り取るのは認めようと言っている県議会議員がいますが。

悟朗 お、おおお、憎い敵[かたき]の肉を1ポンド切り取れるんですね！じゃあ、僕、茨城県に引っ越します。ウチは埼玉県の端で、隣のアパートが茨城県なんです。よーし！

悟朗、勢いよく立ち上がる。

麻雛 ですが、血が一滴でも流れたら傷害罪が成立します。

悟朗 そ、そんなあ。

悟朗、しおしおと座り込む。

工藤 まあまあ、歌舞伎好きならわかると思うけど、敵討ちは最後までやらないのが良いんじゃないかなあ。

悟朗 え？

工藤 だって、歌舞伎の敵討ちものの幕切れと言えね、こうでしょう？

工藤は前に出る。

胸のボールペンを抜いて刀のように持ち、悟朗に突き付けて、

工藤 （歌舞伎風に）おのれ、若僧が、百年早いわ！

麻雛は慌てて立ち上がって上手に向かう。

ツケ板の前に正座して拍子木を持ちバタバタを打つ、

工藤は見得を極める。



悟朗はなんだかわからないという顔をしていたが、  
バタの音にハッとしてボールペンを持って立ち上がる  
悟朗も前に進み出て、工藤に向かい、

悟朗 （歌舞伎風に）ここで逢ったが百年目、父の敵[かたき]、いざ、打ち果たさん！

悟朗が見得を決めたところで、麻雛のバタバタが入り、

工藤 （歌舞伎風に）ぐはははは、返り討ちにし・て・く・れ・る・わ！

麻雛のバタバタで歌舞伎風のゆっくりした殺陣になる。  
工藤と悟朗のボールペンが、一合、二合した後、  
悟朗のボールペンが工藤の脇を抜ける

工藤 （歌舞伎風に）ぐおおおお

工藤は脇を斬られたような姿でスローモーションになる。  
ここで麻雛が拍子木から柀に持ち替えてちょんと打つと、  
工藤は正面を向いて正座する。  
悟朗もつられて隣に正座し、2人はそれぞれのボールペンを前に置き、

工藤 （歌舞伎風に）まず、こんにちは

麻雛が柀をちょんと打つ

悟朗 （歌舞伎風に）これぎりー

2人、正面に向かって深くお辞儀。  
麻雛が柀を打ち連ねて、最後に1回、ちょんと決めたところで  
工藤はヒザのホコリを払いながら立ち上がって悟朗に向かい、

工藤 どうです？ なにか、一つでも思い出しました？ 敵[かたき]の名前とか、お父さん  
の名前とか、手形の会社とか？

悟朗も立ち上がって正面に向かい、スッキリした顔で、

悟朗 何一つ思い出せません。でも、なんだかスッキリしちゃって、敵討ちのことなど…

工藤 (わずかにニヤリとして) どうでも良くなっちゃいました？

悟朗 いやあ、そこまで割り切れたわけじゃないですけど、

工藤 (慔然と) そうですか。

悟朗 ご迷惑でしょうから、今日は帰ります。いろいろすみませんでした。

工藤 そうですか。では、もうお会いすることはないかもしれませんね。

悟朗 はい？

工藤 小林くん、曾我さんのお帰りです。

麻雛 (事務的な表情で) はい。お疲れ様でした。あ、そうそう (表情を微妙に変えて早口に) 県庁前の右端のバス停から乗ると便利ですよ。

悟朗、立ち上がった小林に促されてしぶしぶと退場。  
工藤は自分のボールペンを、  
麻雛は悟朗が置いていったボールペンを拾い上げる。

麻雛 工藤課長、お疲れ様でした。

工藤 小林くんも。大変な初日でしたね。でも、これで埼玉県敵討課の役割は果たせたようです。最後の彼、曾我悟朗さんでしたっけ、今頃、私たちの名前も忘れてのことでしょう。

麻雛 (腑に落ちたという顔で) なるほど、そうでしたか。そういえば、私のフルネームと、課長のフルネームを覚えてませんでしたね。

工藤 さすがに役所では偽名は使えませんからね。小林くんが、あさひな、私がくどう・すけつねだと名乗ったら、彼はどう反応したでしょうかねえ。歌舞伎役者を目指してたんですから、すぐに曾我の仇討、寿曾我対面[ことぶきそがのたいめん]を思い起こしたでしょう。

麻雛 そうでしょうね。

工藤 曾我五郎[そがのごろう]の敵討ちの相手といえば工藤祐経[くどうすけつね]、その中立[なかだち]といえば小林朝比奈[こばやしあさひな]ですからね。

麻雛 小林朝比奈なんて、歌舞伎の舞台では不細工な道化オヤジなんですから、同じ名前を付けられた私はイヤで仕方ありませんでした。朝比奈の妹なら美形なのに。父が亡くなる前にもっと文句を言っておけば良かった。

工藤 まあまあ、歌舞伎の知識さえ無ければ「あさひな」は女性らしい可愛いお名前じゃないですか？

麻雛 (急に工藤をじっと見て) 曾我さんに薬を飲ませたのは工藤課長ですね？

工藤 (質問には答えず宙を見て) 今日、日本全国 47 都道府県すべてで敵討課が設置されましたが、どこも申込みの受付しかしていません。敵討課に配属された職員は、誰一人として敵討ちが実際にできるようになるとは思っていないはず。単なるガス抜きですからね。消費税 10 パーセント法案と抱き合わせにして、国民の皆さんの不満が爆発しないように、ちょっとだけ興味の方向を変えられれば良いんです。マスコミと茨実県のバカな議員一人がいい感じに騒いでくれたお蔭で、ほど良い結果になったのではないのでしょうか？ ここは別ですが。

麻雛 (質問には答えず) どういう薬なんですか？

工藤 (質問には答えず) 他の 46 都道府県の敵討課の役割は単なる受付ですから専任の課長などいません。埼玉県だけです、ダミーじゃないのは。それは私が厚労省や保守第一党の皆さんとつるんで新薬の実験をするためです。小林くん、ご存知でした？

麻雛 (質問には答えず) 父は厚労省にいましたが、先月、自殺しました。ご存知でしたよね？

工藤 (質問には答えず) 司馬県スズメバチ対策課でスズメバチの駆除薬を作っている製薬会社とつきあっていたら、アルツハイマー病の薬も開発していると聞きましてね。で、開発中にできた失敗作が、大事なことから忘れてしまう薬だったと知ったんですよ。この薬のことは知ってますね？

麻雛 （質問には答えず）厚労省の管理官として地味ながらもていねいに仕事をする父が誇りでした。工藤課長は大学の後輩だったそうですね？

工藤 （質問には答えず）大事なことから忘れてくれるなんて、これは政治にも行政にも使える便利な薬だなあ、と、思って、製薬会社の河津社長に極秘開発をお願いしたんですが、なかなか首を縦に振ってくれなかったんです。そこで、厚労省にいた先輩の小林管理官を巻き込むことにしました。すでに、保守第一党の泉幹事長に話を通しちゃったので、後戻りなどできなかつたのですよ。小林管理官、つまり、お父さんから何か聞いていましたか？

麻雛 （質問には答えず）その河津三郎社長が曾我悟朗さんの父というわけですね？

工藤 （質問には答えず）この薬のよいところは非常に微量でも効くところでした。危険性に気付いた河津社長が処分しようとしたので、やむを得ず、罠にハマっていただきました。経営不振の狩場産業の手形なんて押し付けられたら大損するに決まっているじゃないですか？ 残念ながら、告発文が残されてて、歌舞伎俳優養成所を辞めようか悩んでた悟朗くんに届けられてたんですね。悟朗くんは別れた奥さんに付いてたので苗字が曾我で、気づくのが遅れました。私らしくない失敗でしょう？

麻雛 （質問には答えず）どうやって、私の父を死に追いやったのですか？

工藤 （質問には答えず）気づいてすぐに、鎮痛剤に忘れ薬を混ぜて悟朗くん届けさせたわけです。そして、すでに準備が進んでいた敵討課に来るように仕向けました。今日、全国の敵討課に訪れた方で、そう、仕込まれてたのは悟朗くんだけだって知ってました？

麻雛 （質問には答えず）父はあの日も普通に元気に仕事に出掛けていったのに。聴いてます？

工藤 （質問には答えず）しかし、お蔭で良いリストが出来ました。今日、日本中の敵討課に訪れた方には、今後の忘れ薬の治験を強制的にしてもらおうと思います。だって、敵討ちなんて現代にそぐわないじゃないですか。そんなことは忘れてもらうのが一番です。さっき、悟朗くんと私が演じたように「(歌舞伎風に) まず、こんにちは、これぎりー」で、一滴の血も流さずに終わるべきなんです。あ、そうそう、この薬の初期バージョンには強い副作用があったんですよ。鬱を一気に悪化させると

いう。それこそ自殺するしかなくなるくらい。河津社長は人殺しの薬だと騒ぎだしましてね。なんとかこの副作用は消すことができたんですが、これも便利だなあと  
思って私は初期バージョンを隠し持ってました。小林先輩、ストレスがたまってた  
んでしょね。あんなに効くとは思いませんでしたよ。

麻雛 （一気に激高して）父の敵[かたき]、覚悟！

麻雛、ボールペンを逆手に持って工藤に襲い掛かる。

工藤、胸ポケットから小さなスプレー缶を取り出し、麻雛に吹きかける。

麻雛はフラットとして、上手に（ツケ道具一式がある方に）崩れ落ちる。

工藤 スプレータイプの忘れ薬も試させて貰おうと持ってきました。意識を無くさせる副  
作用付きだそうです。小林くんも、明日には敵討ちのことなど忘れていて  
しょう。さて。

工藤、正面を向いて正座する。

ボールペンを前に置き、

工藤 （歌舞伎風に）まず、こんにちはーこれぎりー

工藤、正面に向かって深くお辞儀。

暗転

悟朗 父の敵[かたき]、覚悟！

明るくなると、悟朗のナイフが工藤の脇を抜けている

工藤 え？

悟朗 （荒い息を吐きながら）バス停に着いて気づきました。朝日交通の7番乗り場。  
東京行きじゃないですか。乗り鉄のバス好きだという小林さんが間違うはずがない。  
そこで気づいた。たとえ他のことは全部忘れても、歌舞伎のことだけは忘れない。  
朝日7、小林朝比奈、曾我の仇討、工藤祐経！あんただ！

工藤 ま、まさか…

工藤は脇を斬られた姿でスローモーションになり倒れ込む。  
麻雛は起き上がってツケ板の前に正座して拍子木を持ちちよんと打つと、  
工藤と悟朗は正面を向いて正座する。

悟朗 （歌舞伎風に） まず、こんにちは

麻雛が柝をちよんと打つ

工藤 （歌舞伎風に） これぎりー

2人、正面に向かって深くお辞儀。  
麻雛が柝を打ち連ねて、最後に1回、ちよんと決めたところで  
暗転  
幕

- 本作の著作権は平野正喜にあります。
- 本作は有料ですが、上演・放送・出版・転載されない場合は、代金はいただきません。
- 教育・稽古のための使用の場合は、代金はいただきません。
- 上演・放送・出版・転載される場合の料金は、ランドッグ・オーグ平野正喜事務所のウェブページ (<http://rundog.org>) をご覧ください。あるいは、日本劇作家協会にお問合せください。代金の支払いにより、脚本の使用を利用者に対し非専属的に許諾します。